

第70回 全日本中学校長会研究協議会

群馬大会

令和元年10.23Wed. - 25Fri.

主催 全日本中学校長会・関東甲信越地区中学校長会

主管 群馬県中学校長会

第70回 全日本中学校長会研究協議会

群馬大会



富岡製糸場

日本初の本格的な器械製糸工場。2014年に世界遺産に登録された。

主 催：全日本中学校長会・関東甲信越地区中学校長会

主 管：群馬県中学校長会

大会主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」

開催趣旨

急速に変化し多様化する社会にあって、これからの我が国は厳しい挑戦の時代を迎えると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や人工知能（AI）の進化、絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し、子供たちが将来就くことになる職業の在り方についても現在とは全く異なることが予測されている。将来を担う子供たちには、社会の加速度的な変化の中にあっても、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化に立脚し、人々との協働を重視しながら、豊かな発想やしなやかな知性をもとに、新たな知や価値の創造に挑み、よりよい社会を創造していく未来を切り拓く力を身に付けることが求められている。教育の在り方も一層の進化を遂げなければならない。

平成29年3月に中学校学習指導要領が公示された。それには、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指して、育成を目指す資質・能力の明確化、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進、カリキュラムマネジメントの推進などが示されている。これらのことから、全日本中学校長会は、第70回群馬大会より、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」を研究協議会主題に設定し、研究協議を進めていくこととした。

本大会においては、新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく上で必要な資質・能力を確実に育んでいくことを目指して、これまでの研究の成果を踏まえつつ、全国中学校長の英知と創意を結集して、主題に迫る具体的な方策を究明し、我が国の中学校教育の充実発展を期するものである。

群馬の伝統工芸品



桐生織



伊勢崎絨



藤岡瓦

大会日程

第1日 10月23日(水)

11:00	11:30	13:50	14:00	17:00	17:30	18:00	20:00
受付	全日中 常任理事会	受付	全日中 理事会		受付	歓迎の集い レセプション	
	13:00	13:30	14:30	15:00	17:00		
	受付	全体協議会 運営委員会	受付	分科会 運営委員会			

第2日 10月24日(木)

時程	行事	実施内容	時間
8:45	受付	資料配付 受付名簿照合(来賓のみ)	40分
9:25		開会式準備完了	
9:30	開会式	開会	50分
		1 開式のことば	
		2 国歌斉唱	
		3 挨拶 大会会長 大会実行委員長	
		4 祝辞 文部科学大臣 群馬県知事 前橋市長 群馬県教育委員会教育長	
		5 来賓紹介(祝電披露も兼ねて)	
10:20		6 閉式のことば 閉会	
	会場整理	(来賓、主催者等降壇) 1列目に着席	10分
10:30		文部科学省説明	50分
11:20	準備		5分
11:25	全体協議会	開会	55分
		1 議長団挨拶	
		2 全体協議 第1協議題(全日中) 第2協議題(中国地区)	
		3 宣言・決議の提案 (全日中総務部長)	
12:20		4 議長団挨拶 閉会	
	昼移動	諸連絡、各分科会への移動 (昼食配付は、各分科会場で)	85分
13:45	分科会	開会	180分
		1 開会のことば、係紹介	
		2 司会者挨拶	
		3 日程説明・運営について	
		4 研究発表	
		5 研究協議	
		6 まとめ	
		7 司会者挨拶	
		8 諸連絡	
16:45		9 閉会のことば 閉会	

第3日 10月25日(金)

時程	行事	実施内容	時間
8:45	受付	飲み物配付	25分
9:10		宣言・決議(案)配付 (会員、主催者、文部科学省、議長団座席に着席)	
9:15	アトラクション	マンドリン演奏・合唱	25分
9:40		伊勢崎市立第三中学校 ギターマンドリン部・合唱団	
	会場整理		10分
9:50	全体会	開会	20分
		1 協議 ・議長団挨拶 ・大会宣言決議 ・その他 ・議長団挨拶	
10:10		2 諸連絡 閉会	
	準備		10分
10:20	記念講演	開会	90分
		1 講師紹介	
11:50		2 講演 3 花束贈呈 閉会	
	準備		10分
12:00	閉会式	開会	25分
		1 開式のことば	
12:25		2 挨拶 ・大会会長 ・大会実行委員長 ・次期開催地代表(和歌山県)	
12:30		3 閉式のことば 閉会	
		諸連絡 散会	



大会挨拶

第70回全日本中学校長会研究協議会群馬大会 大会会長
全日本中学校長会
会長 川越豊彦

第70回全日本中学校長会研究協議会群馬大会が、「新たな時代を切り拓く人づくり 東国文化発祥の地 群馬から」の大会スローガンの下、群馬県前橋市で開催されますことを心よりお喜び申し上げます。本大会の開催に当たり、御尽力いただいた大会実行委員長であり群馬県中学校長会会長である綿貫知明様をはじめ、関東甲信越地区中学校長会、群馬県中学校長会、前橋市中学校長会の皆様に心より敬意を表します。また、御支援・御指導を賜りました文部科学省、群馬県、前橋市、群馬県教育委員会、前橋市教育委員会をはじめ、多くの皆様に深く感謝申し上げます。

さて、AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の技術革新が目覚ましく進展・普及し Society5.0という新しい時代が到来しつつあります。技術革新が進むことにより、今の子供たちが、大人になって活躍する社会は、今と大きく異なっていると考えられます。具体的にどのような社会になっているかは、誰にも予測することができません。しかし、そうした予測困難で変化の激しい社会にあっても、子供たちが変化の中からチャンスを見つけ、そのチャンスを活用し、活躍していくことができるような資質・能力を身に付けさせることが教育に期待されています。

技術革新は、教育の在り方にも大きな変革をもたらすと言われていています。学習状況の活用による「個別最適化された学び」や「だれでも」「いつでも」「どこでも」主体的に学び続けることができる環境の実現などが、その例としてあげられています。これらを通して、子供たちに必要とされている資質・能力を身に付けさせることができるように、教師にも変化し続ける社会に的確に対応できるように、必要な資質・能力を着実に身に付けることが求められています。

Society5.0の到来は、これからの時代における学校の存在意義を問うています。技術革新によってもたらされた新たな学びや学習環境によって学校や教師は必要なくなるのでしょうか。教育基本法第2条第1項に教育の目標の一つとして「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」とあります。この目標を実現できるのは、子供たちの知・徳・体を一体で育む学校教育であり、学校教育を支えている教師と私たち全日本中学校長会です。技術革新によってもたらされたシステムや環境等を私たちが質の高い教育活動を行うための支援ツールとして活用し、子供たちに明るい未来社会を創生する力を身に付けさせることが、学校と私たち全日本中学校長会に課された使命であり、そこに学校の存在意義があります。本研究協議会の主題「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」は、まさに、このことを表しています。

結びに、この研究協議主題の下、活発な協議が行われ、その成果が明日からの学校経営の充実に資するとともに、これからの時代の学校教育の在り方について考える機会となり、ひいては、我が国の中学校教育の更なる充実・発展につながる大会となりますことを祈念して、挨拶とさせていただきます。



大会挨拶

第70回全日本中学校長会研究協議会群馬大会 実行委員長
群馬県中学校長会
会長 綿貫 知明

令和となった今年度、記念すべき第70回全日本中学校長会研究協議会群馬大会が、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」という研究協議主題のもと、群馬県前橋市で開催できますことは、群馬県中学校長会として、大きな喜びであるとともに大変光栄なことと思います。

私たち、県下162名の校長は、平成28年度から準備委員会を立ち上げ、平成30年度には実行委員会を組織し、開催準備を進めてきました。また、一昨年東京大会、昨年の鳥取（米子）大会を、大いに参考にさせていただき、今までの伝統と成果を引き継ぎ、研究協議内容を充実させるとともに、円滑で効果的な大会運営ができるよう心掛けてきました。

本大会のスローガンは「新たな時代を切り拓く人づくり 東国文化発祥の地 群馬から」としています。昨年6月に策定された第3期教育振興基本計画では、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成することが重点事項として掲げられています。これから子供たちが生きていく未来は、Society5.0等の技術革新やさらなるグローバル化の進展など、変化の激しい予測困難な時代といわれています。学校も新学習指導要領全面実施への対応を進める一方で複雑化・多様化する諸課題への対応も求められるなど、大きな変革のときを迎えています。また、働き方の質と量を考えた、真に必要な教育活動を進めることも急務です。

ところで、群馬県は県内全域に多くの古墳が点在し、重要な文化財である埴輪が発掘されるなど、歴史文化遺産が数多く残っている東国文化のふるさとです。また、県令として群馬県を全国でもトップクラスの就学率に押し上げた楫取素彦氏、キリスト教思想家で教育者の内村鑑三氏など、多くの教育者とゆかりの深い教育の地でもあります。内村鑑三氏は、その著書『代表的日本人』で「私どもは（略）修練を積みれば生活費が稼げるようになるとの目的で、学校に行かされたのではなく、『真の人間』になるためだった。私どもは、それを真の人、君子と称した。英語でいうジェントルマンに近い」と述べています。新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していくのが『真の人間』であるとするならば、本研究協議会は誠に大きな役割を担っているといえましょう。

私たちは、こういう学校にしたい、という理想をもち、学校で学ぶ子供たちが、自分の心を正しく導き、人生をより良く変えてほしいと願い学校経営を行っています。コミュニティ心理学では、自らの長所を引き出し、自分自身をコントロールする力の増大をエンパワーメントと呼ぶのだそうです。子供たちはもちろん、それを導く先生方も自らの長所を伸ばし、エンパワーメントされる、そんな理想を語りたいと強く願います。

本大会における全体会や分科会の協議、行政説明や講演会等を通じて校長としての力量を高めるとともに、参加された校長先生方と様々な情報交換を行い、得られた知見や情報を各地での今後の学校経営に生かしていただければ幸いです。また、本大会の成果に加え、全日中教育ビジョンを活用し、それぞれが任された学校にとって適正なビジョンを策定して学校経営されることを願っています。

結びに、本大会の開催にあたりまして、文部科学省、群馬県及び前橋市、そして、両教育委員会、全日本中学校長会、関東甲信越地区中学校長会をはじめ、御支援・御協力を賜りました多くの皆様方に心より感謝と御礼を申し上げ、大会実行委員長としての挨拶といたします。